

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どうえん大手町児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・曜日ごとに微細運動や粗大運動また就学前の活動と曜日ごとに内容を決めており、保護者や子どものニーズに合わせてご利用日が検討できる。	・一週間に複数回ご利用のある子どもには、同じ微細運動でも活動内容を変え、一人ひとりに応じた活動を提供している。	・保護者とのコミュニケーションを密にとり、子どもの様子をしっかりと共有したうえで、スモールステップの目標を立て支援内容の充実に取り組んでまいります。
2	・同一法人の保育園に通っている子どもの利用があり、保育園の様子を詳しく知ることができる。	・保護者の協力を得て、子どもが通っている保育園などと連携し、その時どきの子どもの様子に応じた活動を提供している。	
3	・小集団のため、一人ひとりの気持ちや様子に合わせた臨機応変な対応ができる。	・一人ひとりの得意なこと、苦手なことを把握し自信につなげられるように活動のレベルを調整している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎がおこなえていない。	・送迎に対応する職員体制が整えられていない。見学希望や利用についての問い合わせ時には、保護者より送迎の有無について確認があり、対応できていないことを伝える中で、利用を見送られるケースがあり、ニーズにこたえきれていない。	・近距離への送迎はおこなえる可能性があるため、お住まいの地域や送迎に対するニーズをしっかりと聞き取り、可能な範囲で対応できるよう努めます。
2	・大型遊具を設置できない。	・室内で使用できる跳び箱や平均台などは整備できているが、園庭がないため、大型遊具の設置ができていない。	・大型遊具を使用する活動時には、近隣の公園へ出かけおこなっている。引き続き移動時の安全に注意をし活動が充実できるよう努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	どうえん大手町児童デイサービス					公表日	2026年2月10日	
					利用児童数	14名		
						回収数	9名	
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2	0	0		・活動内容や一緒に過ごす子どもたちの様子に合わせて、2つの部屋を使い分けて活動に取り組んでおります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	1		・定員4名の子どもに対して、保育士、児童指導員、児童発達支援管理責任者など5名の職員が常勤しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	1	・限られたスペース内で工夫してくださってると思う。	・環境面においては、階段が多い施設になっておりますが、職員と一緒に階段練習をし、少しずつ一人で階段を登れるようになることにも繋がっているため、現在の環境を工夫しながら安全に配慮していきたいと思っております。 ・玩具は、見えない棚に収納し、視覚的刺激が少なくなるようにしております。また、収納棚には玩具の写真を貼り、子どもたちが自分で使いたい玩具を選べるようにしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	1		・毎日活動終了後は使用した玩具をアルコール消毒をしております。 ・活動に応じてパーテーションを使用しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		・子どもたちの成長や保護者の方の要望に応えられるよう今後も研修等に参加し、職員個々のスキルを向上させられるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		・定期的にモニタリングを実施し、支援計画を作成しております。 ・支援計画作成では、保護者へ「子どもの強さと困難さアンケート」を実施し子どもや保護者の意向を職員間で共有し、スモールステップの支援目標となるよう取り組んでおります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		・利用契約時に個別支援計画の作成と定期的な見直しについて説明をおこなっています。本人支援として「お友達や環境、職員に慣れること」、家族支援として「いつでも相談やお話が聞けること」地域支援として「通われている事業所と連携が取れること」を初回の目標とし、その後子ども達の様子や、保護者ニーズに合わせて定期的に見直しをおこなっております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1	0	1		・毎月、予約希望表(行事や日々の活動の予定)をお渡しして行事の日程をお伝えしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	2		・戸外活動にて地域の子供達との交流の機会を作っております。 ・保育所の行事などにも参加しております。
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	1		・広島市などが主催する研修会などの情報を連絡アプリにてお知らせしております。 ・心理士による面談を月二回程度、誰でも申し込み可能な日程を設定しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1	0	0	・とても細かく見てくださり、報告してくださって感謝します。	・来所時に子どもの様子を保護者の方と共有しております。また、送迎時の引継ぎや連絡アプリを活用し事業所での様子を細かくお伝えしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	1	6		・保護者の方の要望を確認し、開催の必要性を検討しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	1		・心理士による面談を月二回程度、誰でも申し込み可能な日程を設定しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0			
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	0	7		・年間スケジュールを作成し、火災時や災害時の避難訓練や消火訓練、通報訓練を計画的におこなっております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	4		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	2	0	0	・とても、楽しく通っている。 ・通所を嫌がらず、むしろ喜んで通っているの。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0	・暖かくなってきたらもう少しお外に出 れる機会があるといいなと思います。	・季節に応じた戸外活動を取り入れてま いります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	どうえん大手町児童デイサービス		公表日		2026年2月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・定員4名の子どもに対して、常勤職員として、保育士、児童指導員、児童発達支援管理責任者を配置している。また、心理士など兼務職員が8名おり、常勤職員の出勤に応じてサポートに入っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・できることの限界があるので、完璧とは言えないかもしれないが、出来る限り一人ひとりに合わせた配慮はしている。 ・階段やエレベーター前のくぼみなど、ケガをしそうな場所は、事前に塞いでおくなどの対応をしている。	・建物の構造上完全なるバリアフリーには限界があるが、引き続き各子どもに合った「構造化・情報伝達」に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・除湿器を設置し、雨の日でも過ごしやすいような環境作りをおこなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・個別の部屋は準備できていないが、落ち着けるように場所を移動するなど配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・webアンケートを活用し保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所評価を実施し、保護者の意向把握に努め業務改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・意見を把握する機会はあると思うが、業務改善をしているかどうかはわからない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・第三者評価の受審はしていないが、法人本部による内部監査を受け、業務改善につなげている。	・第三者からの評価を受けた際には、職員間ですみやかに共有し、業務改善に関するミーティングを開催する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・事前に意見を出しやすいようにアンケートを実施している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員で相談をしながら、プログラムを立案している。 ・前の週には、次の週の週案を話合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・同じ活動をすることで、子どもの自信に繋げることもあるが、活動を固定することはない。 ・週に複数回利用される子どもには、同じ活動をしないように個別でプログラムを立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・その日の担当する子どもや活動での分担を決めておこなっている。	・打ち合わせが不十分な日があるため、一人ひとりにあった支援につながるよう、チームの連携に努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日の連絡帳で活動内容を発信している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・可能な限り参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・必要な場合に応じて関係機関との連携を図れるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・全ての児童にできているわけではないが、法人内の保育園や、保護者が希望した際には、連携をとるよう努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・全ての児童にできているわけではないが、法人内の保育園や、保護者が希望した際には、連携をとるよう努めている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答)	3	2		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・地域の公園で、他児童とかかわっている。公園へでかけ、地域の保育園の園児とのかかわりに取り組んでいる	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・お迎えの際に共有をしている。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・困り感などの質問に対して、必要に応じて対応方法などをお伝えしている。 ・希望される保護者へ心理士による面談を実施している。		
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明をしている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・支援計画作成にあたり、保護者へ「子どもの強さと困難さアンケート」を実施し子どもや保護者の意向を確認をしている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・モニタリング面談などの際に同意を得ている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・事業所内相談の日を設定している。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談日を設け、保護者からの相談をきく機会を設定している。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎日の連絡帳で活動内容を発信している。	
42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	・訓練の実施はしていない。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・年間スケジュールを作成し、火災時や災害時の避難訓練や消化訓練、通報訓練をおこなっている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・指示書はもらっていないが、保護者からひとり一人の食物アレルギーを把握し、クッキングをする際は、対象となる食物が入っていない物を使うように徹底している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		・共有が遅いものもあるため、すみやかに書類等を作成し迅速な共有に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・虐待防止の研修会に参加した職員は、その資料を全職員へ回覧している。	・一人でも多くの職員が虐待防止の研修会に参加できるよう機会を設ける。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束をしないことを職員間で共有している。		